


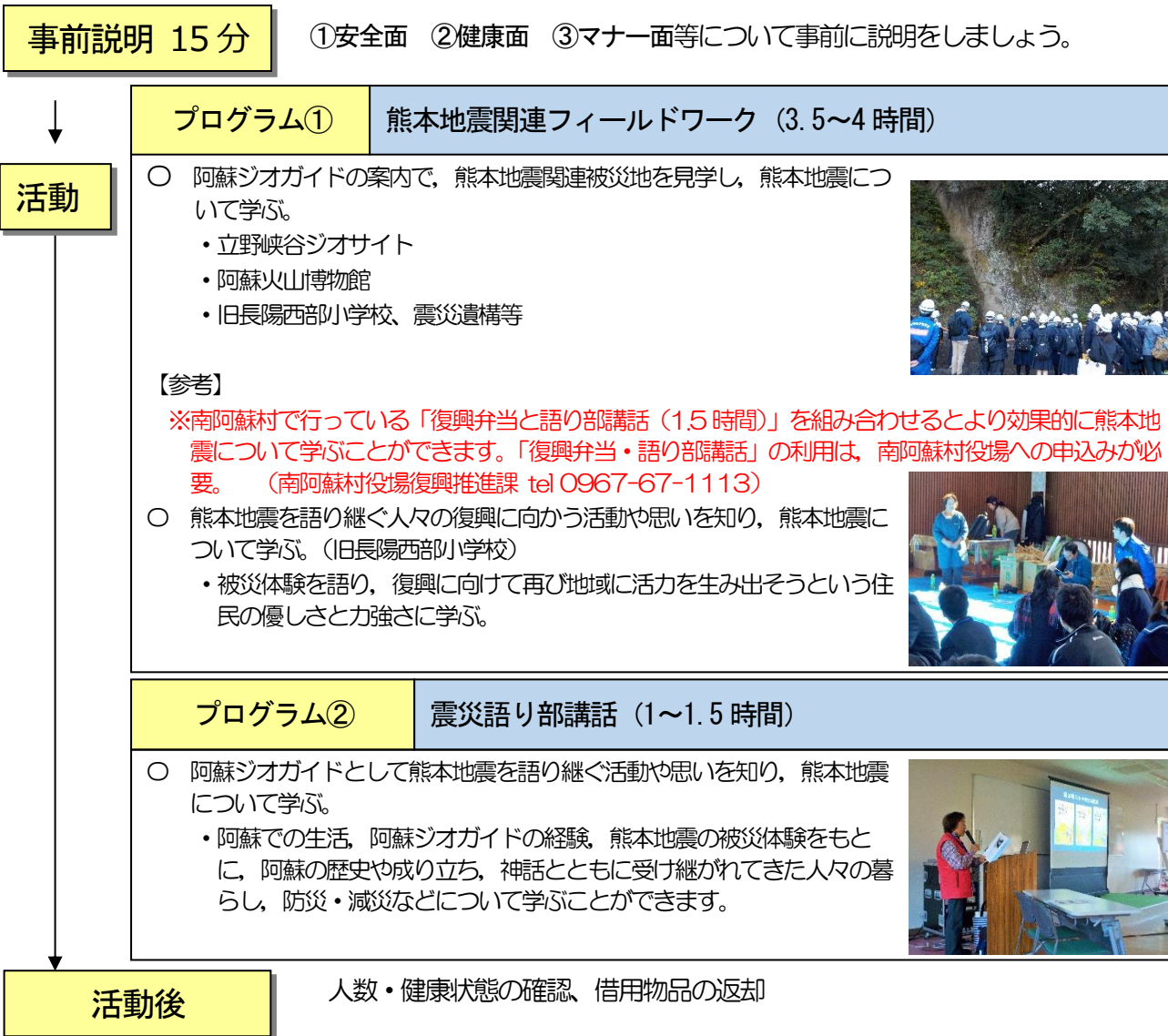
(31) 阿蘇防災学習プログラム

実施形態	指導可能 ※指導依頼をせずに団体での自主活動も可能			自然体験・感性	克服・達成	創意・工夫	自主性・協働性	リフレッシュ・体力
提出書類	指導依頼用紙 ※団体が自主で活動する場合は提出不要			★★★	★★			★
必要経費	別紙参照							
概要 (セールスポイント)	<p>熊本地震関連被災地でのフィールドワークや語り部講話等を通して、熊本地震の概要や復興に取り組む人々の思い・願い等を知ることができます。防災・減災について学ぶことができます。</p> <p>道徳や特別活動等と関連させた学習を行うことができます。</p> <p>プログラム①「熊本地震関連フィールドワーク」(3.5～4時間) プログラム②「震災語り部講話」(1～1.5時間)</p>							
諸条件	場所	熊本地震関連被災地 阿蘇火山博物館、交流の家		対象	小学生4年生以上			
	所用時間	内容に応じて ※別紙参照		人数	内容に応じて			
	時期	通年		天候	内容に応じて雨天時も可能			
準備するもの	青少年交流の家で貸し出し可能な物			団体に準備する物				
	無線機			<p>「プログラム①」において</p> <p>『個人』: 帽子, 水筒, 雨合羽, 野外活動に適した服装(長袖・長ズボン), 時計, 運動靴, タオル, ちり紙, リュックサック, 救急用品, ビニール袋 等</p> <p>『団体』: 救急用品, 携帯電話, 笛, 移動手段としてのバスの確保, ジオガイドとの打ち合せ, 南阿蘇村への申込み 等</p> <p>「プログラム②」において</p> <p>『個人』: 筆記用具 等</p> <p>『団体』: 救急用品, 携帯電話, ジオガイドとの当日打ち合せ 等</p>				
活動内容 (手順)	所用時間	項目	内容					備考
	15分	事前説明	【団体】 ①安全面 ②健康面 ③マナー面 等について					
	3.5時間 ～ 4時間	活動	別紙参照					※内容に応じて
		活動後	【団体】 ①人数・健康状態の確認 ②借用物品の返却					

その他 (各団体の引率者の皆様へ)

- (1) フィールドワーク等の現地への移動は、バスによる移動です。バスは各団体でご準備していただく必要があります。交流の家のバスを利用する場合は、別途バス利用申込みが必要です。また、火山博物館では、別途駐車料金が必要です。
- (2) 指導者には、事前にコースの下見を実施し、安全確認を行っていただきます。
- (3) 国立公園のため、植物を採集したり石を持ち帰ったりしないよう、周知をお願いいたします。
- (4) ごみを捨てないよう、周知をお願いいたします。

プログラムの流れ



ジオガイドの活用

この活動を行う際、ジオガイドを活用されることをおすすめします。**ジオガイドが引率者に代わって、ジオサイトの解説をしてくれます。**ジオガイドを手配する都合上、このプログラムを希望される場合は、**活動2カ月前までに電話で直接交流の家に申し込んでください。**なお、ジオガイドを活用すると、下記のとおり、別途料金が必要になりますので、ご了承ください。

項目	料金
① 熊本震災フィールドワーク 南阿蘇コース	利用者15名につき、ジオガイド1名 12,300円
② 震災語り部講話	ジオガイド1名 7,400円

《阿蘇火山博物館観覧料》

大人 860円

子供 430円

※団体割引有り。詳細はこちら



駐車場について

プログラム ①	○フィールドワークへは、バスか乗用車を使って、現地へ移動します。 基本的には、駐車料金は無料です。 【阿蘇火山博物館を利用の場合】 駐車料金 (普通車：410円 マイクロ：820円 大型：1,630円)
------------	--